

岡山・空き家にさせないプロジェクト（中電技術コンサルタント株式会社）

課題	空き家発生前の対策は発生後の対策に比べると極端に少ない。空き家になる前に人々の心理に働きかけ意識を啓発し、空き家にさせないための行動を促す必要がある。	
目的	建物所有者やその関係者の行動変容を促す手法を確立し、取組内容をまとめたガイドラインを広く公表することで、空き家の発生抑制に向けた対策の普及を目指す。	
取組内容	①行動変容に向けたリーフレット作成 ②行動変容に向けたアンケート調査 ③ワークショップ・個別相談会の開催	④「空き家を生まないためのガイドライン」の作成 ⑤HPの作成
成果	・行動変容の効果の定量化 ・「空き家を生まないためのガイドライン」作成	・「行動変容を促すリーフレット」作成 ・HP公開

取組内容

①行動変容に向けたリーフレットの作成

視覚的に分かりやすく、かつ深層心理に働きかけるリーフレットを作成した。

②行動変容に向けたアンケート調査

行動変容研究の手法を用いたアンケート調査を実施し、行動変容の度合いを定量的に明らかにした。

③ワークショップ・相談会の開催

専門家（弁護士、司法書士、建築士等）によるワークショップ・相談会の実施手法を検討した。

④「空き家を生まないためのガイドライン」の作成

相続・リフォームや市場流通等への行動変容を促す一連の手法について、ガイドラインとして取りまとめた。

⑤HPの作成

他地域の自治体や民間事業者のプラットフォームとなるようHPを立ち上げ、ガイドラインの内容や問合せ窓口等の情報を掲載した。

成果

行動変容の効果の定量化

行動変容に向けたアンケート調査により、回答者の**約2割**の行動変容を確認した。

【具体的な行動（例）】

- ・家族間で情報収集・共有した
- ・登記を確認した
- ・エンディングノートを作成した
- ・不動産屋に相談した

ガイドライン作成



HP公開

